

令和5年度 第2回 北海道恐竜・化石ネットワーク研究会 議事概要

<概要>

○日 時：令和5年(2023年)11月29日(水) 15:00~16:45

○場 所：オンライン(Zoom)開催

○出席者：別紙「出席者名簿」のとおり

○次 第：

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

(1)令和5年度の主な取組について

(2)令和6年度の取組について(案)

(3)各博物館・団体等からの話題・情報提供について

4 その他

5 閉 会

1 開会

[北海道・小林]

- 令和5年度第2回北海道恐竜・化石ネットワーク研究会を開催する。本日の司会を務める小林。どうぞよろしく願います。
- 開会にあたり、北海道総合政策部地域政策課地域資源活用担当課長の守屋よりご挨拶申し上げます。

2 挨拶

[北海道・守屋]

- 北海道総合政策部地域政策課地域資源活用担当課長の守屋。本日はお忙しい中、会議にご出席いただき、感謝。
- 道内の話題提供として今年7月20日に札幌の都心部に新しい都市型屋内水族館としてAOAOという水族館がオープンしたが、そこに10月19日から1月15日までむかわ竜の全身骨格レプリカが展示されていて、来場者から好評を得ていると聞いている。その他にも今年2月の札幌雪まつり時期に合わせて、道庁の東側にある日生ビルの1階でサッポロカイギュウの骨格レプリカを展示するという事で北海道の恐竜・化石を活用して集客を図ろうとしている動きが見られ非常に恐竜が注目されていると思う。
- その中で、当研究会では皆様のご協力いただき作成した恐竜カレンダーをいろいろな施設で配布していただいたところ、想定の1,600部程度配布でき、多くの方に北海道の恐竜・化石をPRできたと感じている。
- 本日は、前回皆様からご意見をいただいたことを踏まえて、2月に実施させていただく埼玉越谷イオンレイクタウンでの北海道の恐竜イベントや、北海道恐竜・化石の切手について意見交換をいただくほか、いろいろな方向性を決めたいと思っている。よろしく願います。

- またあわせて、各地域の最近の活動紹介や来年度の事業についてもまだ頭出し程度だが、道の考えを示させていただきたい。
- ご意見よろしく願う。

3-1 議題(1)

[北海道・小林]

- 議題(1)、令和5年度の取組報告について。
- 資料に沿って説明。
- 木の広場の規模感は、イオンモール札幌発寒のすずらん広場より若干広いくらい。
- 6月にいただいたご意見の教育的意義という部分は小林先生の講演会で恐竜のマップやカレンダーを使い北海道の恐竜・化石について学びの場になるようにする。
- 切手は今後買い取り部数の意向調査を行う。
- 足寄町澤村氏巡回展について補足はあるか。

[足寄町・澤村]

- NHKでは以前から浩而氏の絵の作成を追っていて2月に特集を放送する。放送に伴い原画展を行うのがNHKのスタンス。

[むかわ町・太田]

- 視察時の木の広場の状況や気づいたことを教えて欲しい。

[北海道・小林]

- 視察したときは金曜日で、木の広場では福井の恐竜展が行われていたが、木の広場の場所がmoriの中でも奥の方なのであまり人が来ない様子。道としては広報に力を入れて集客したい。各施設もPRできる媒体があればご協力願います。

[北海道大学・小林]

- 今回のイベントは4町の参加だが、そのほかの市町は参加しないということでもいいのか。ポスターやパンフレットの設置だけでもしたほうがよいのではないか。
- ネットワーク研究会としての宣伝はあるのか。
- 切手については、それぞれの施設の希望はないのか、まだ切手部分などに余裕があったりするのでもうすこし画像を大きくするなどできるのではないか。

[北海道・小林]

- レイクタウンの件に関しては、パンフレット等を送っていただければ道として配置する場所を設けるので連絡して欲しい。
- ネットワーク研究会としてはカレンダーの配布等を行う予定。

[北海道大学・小林]

- 今回は初年度だが次年度も継続するものなので、移住相談など恐竜以外でもイベントへの参加はいろいろできるのではないか。

[北海道・小林]

- 恐竜・化石はもちろんだが、他に予算のとりやすい事業があればそれも含めて参加をお待ちしている。
- 切手については、2月3日、4日のイベントにあわせて販売しようとしている。

[浦幌町・持田]

- 各恐竜の名前は切手に入っているが、それぞれの説明は入れられないか。

[北海道・小林]

- それも考えたが、文字数が多くなってしまうので、シート部分に展示施設名を入れているので気になる方がそれぞれ施設名を検索していただく形にした。

[浦幌町・持田]

- 各切手の中に市町名が入っているが、施設名は入れられないのか。

[北海道・小林]

- 切手が大きいものではなく、文字数の関係上入れるのは難しい。

[北海道大学・小林]

- 浦幌の画像をもう少し大きくするなどした方が良いのではないか。

[北海道・小林]

- 斜めにしたり大きくしたりできるように日本郵政と調整する。

[沼田町・長野]

- 切手は送るものなので、送られた側がその化石をどこで見られるのか名前と施設名入れた方がよいのではないか。

[北海道・小林]

- 名前と施設名を入れられるようにする。

[北海道大学・小林]

- 切手部分にネットワーク研究会のロゴを入れたらどうか。

[北海道・小林]

- 調整する。

[むかわ町・櫻井]

- カムイサウルスは切手ではないのか。

[北海道・小林]

- カムイサウルスは切手ではない。今回は好評であれば第二弾を考えている。

[足寄町・澤村]

- マンモスゾウとケナガマンモスはどちらかに統一した方良いのではないか。

[北海道・小林]

- ケナガマンモスに統一する。

[沼田町・長野]

- 北海道の代表的な化石としてカムイサウルスやサッポロカイギュウを売り出しているのであれば、10シートしかない中で似たような分類の化石を1シートにまとめてでも、カムイサウルスなどを切手部分に入れるべきではないか。

[北海道・小林]

- 入稿期限が迫ってきており、大幅な変更ができないため、難しい。

[小平町・長澤]

- 論点としては、カムイサウルスとサッポロカイギュウを切手部分に入れたいということか。そういうことであれば、小平町のクビナガリュウとカムイサウルスやサッポロカイギュウの場所を替えてもいい。

[中川町・疋田]

- 2月のイベントにあわせて切手を発売したいのであれば、イベントに集まる恐竜・化石を中心

に作成した方が良いと思う。中川町は不参加の予定なので、今回パラリテリジノサウルスは切手部分に入れなくても良い。

[北海道・小林]

- イベントでの発売へ向けて、小平町のクビナガリュウと中川町のパラリテリジノサウルスをバックシート部分へ移動し、カムイサウルスとサッポロカイギュウを切手部分へ移動することとする。

[三笠市・加納]

- そもそもこの切手を制作するとき施設ごとの代表的な化石の画像を道へ提出しているが、本来ならその画像を元にCGなどを作成したほうが良かったのではないか。
- エゾミカサリュウも写真を出せと言われたから出したが、前後かけてる部分の復元図などを付けるなどした方がいいものができた。何か始めるときにもっと細かく説明して欲しい。

[北海道・小林]

- この切手は、日本郵政がデザインを作成していてCGを利用したデザインは行えない。

[三笠市・加納]

- 道がお金を出してCGを作れば良いのではないか。

[北海道・小林]

- 道としては予算の関係上、CG等を作成するのは厳しい。

[三笠市・加納]

- 研究会のなかにも、デスマスチルスやアンモナイトの専門家がいるのであれば、その人をお願いするなどして費用を抑えることは可能ではないか。

[北海道・小林]

- 第2段を制作することになった場合は、お金をかけずにもっと迫力や緻密さを出したデザインをつくる方法を考える。

[沼田町・長野]

- イベント時、事務局は何人ほど手伝えるのか。

[北海道・小林]

- 事務局は7名でイベントに従事したいと考えている。

[沼田町・長野]

- 物販は各施設で行うとあったが、物販を施設職員で行うと化石発掘体験にスタッフが対応できなくなるがどうしたらよいか。

[北海道・小林]

- 現金のやりとりを行う場合は施設の職員で対応して欲しい。発掘体験を道の職員が長野さんからレクチャーしてもらい、手伝えることは可能。

3-2 議題(2)

[北海道・小林]

- 令和6年度の取組(案)について
- 資料に沿って説明。

[三笠市・加納]

- 令和6年度の取組について6月に行った研究会の中で来年度も埼玉でイベントを行うことを教えて貰ってない。この時期に言われても来年度の予算の提出が終わっているため予算がない。

もっと早い時期に予算枠だけでも教えていただきたい。

[北海道・小林]

- もう少しはやくお伝えできるように今後の課題とする。

[浦幌町・持田]

- 令和7年度以降のイベントの予定を令和6年度の初めに話し合った方が良くはないか。年度に入ってから説明ではなく、予算も前年の9月頃に提出するので枠だけでも長期的に教えていただきたい。来年度もイオンレイクタウンの日程も大体でいいので教えて欲しい。

[北海道・小林]

- イオンのご厚意で有料のイベント広場を無料で貸していただいているので、基本的にはイオンの予定が空いているのが大前提。空き状況がなかなかわからないのもあり、日程について詳細に断言できない。できるとすれば、6月に行う第1回の研究会で次年度の計画を説明する。

[浦幌町・持田]

- 説明してもらっても良いが、研究会として次年度について話し合うべきではないか。
- 研究会として動き出しをもう少しはやくすべき。
- イオン等の商業施設にこだわらなくてもいいのではないか。計画的にできる公共施設等を利用すれば良いのではないか。

[北海道・小林]

- 会場使用料があまりなく、無償で貸していただける施設を利用しているのが実状。

[中川町・疋田]

- 頑張ると自治体でも出せないことはない使用料の施設もあるが、そのような施設は基本的にこの自治体の市民のための施設のため、借りられなかったことがあった。
- 中川町も東京都世田谷区で展示会を開こうとした時に、一定程度の期間施設を借りることになり、その自治体の市民が使えなくなって苦情がくる可能性があるので使用できなかったことがある。大学博物館などであれば利用できると思うが、公的な施設は難しいと思う。

[北海道・小林]

- いずれにしても、早め早めに次の展開を相談ベースからしていくことをこれからの課題にしていく。

3-3 議題(3)

[北海道・小林]

- 続いて、議題(3)各博物館・団体等からの話題・情報提供について。

[三笠市・唐沢]

- 夏に特別展を「復元」というタイトルで実施し、アンモナイトの復元画を足寄町の新村氏に作成していただいて、道内の博物館と協力して期間中に1万3000人ほどの来館があった。その後夏休みのイベント等も開催している。

[むかわ町・太田]

- 穂別博物館では夏休み中の化石の日に合わせたイベントの恐竜DAYをコロナの影響でしばらく開催していなかったが、今年度復活させた。
- レプリカ作りやバックヤードツアーの他に町内で子ども化石クラブという取組を小学生を対象に実施しており、そちらの卒業生による展示解説なども行った。

- 町民の有志による恐竜ワールドセンターという団体が主催し、恐竜リベンジャース 2023 というイベントを9月に行った。胆振東部の関係で中止していたが、広島県の紙を使った恐竜の造形作家などの作品の展示やワークショップを実施したイベントだった。
- AOAの件に関しては冒頭で触れていただいたので割愛する。
- 安平町の道の駅で恐竜ワールドむかわ展を実施し、穂別博物館が収蔵しているティラノサウルスの全身復元骨格模型を展示したほか日時限定で化石発掘体験も行った。
- 穂別博物館のリニューアルを含む「むかわ町復興拠点施設等整備事業Ⅰ」に係る業務発注を9月の末に実施した。プロポーザル方式なので12月5日に事業者の審査を行う予定。

[小平町・長澤]

- 例年行っている小中学生を対象とした化石発掘体験が2回延期したが、悪天候により中止となった。
- 小平ふるさと塾で化石の普及啓発を行っているが、今年度は松前神楽の話と陶芸の話、道外講師による東日本大震災の疑似創出体験を行ったので化石のことはできなかったが、来年は化石の普及啓発を行いたい。

[足寄動物化石博物館・澤村]

- 足寄町は目新しいことは行っていないが、館内で行っているミニ発掘体験と印象的な話になるが、学校の利用が増えている。小学校の修学旅行は前からあったが、最近は中学校生の修学旅行などが多くその対応に追われている。
- 手つかずでいた化石のクリーニングを開始しており、新聞にも載せてもらえそうなネタが出てきそうな気がしている。

[北海道・小林]

- 中学校の利用が増えている要因はなんですか。

[足寄町・澤村]

- 学習指導要領などが変わって体験型の学習が多くなっていることが考えられる。

[沼田町化石館・長野]

- 沼田町化石体験館が今年15周年を迎えたことを記念して、夏と秋にナイトミュージアムを初めて行った。
- 10月15日の化石の日にあわせてナイトミュージアムとネズミイルカまみれというイベントを行い中川町エコミュージアムセンターと札幌市博物館活動センターにも協力していただき、日本で発見された新属新種のネズミイルカをすべて展示し、原生の日本で生息するネズミイルカも集めて展示を行った。
- 11月3日に今年度の化石館の営業は終了し、来年の4月29日にオープンする予定。
- 冬の間は今年収蔵庫が新しく移動したので、そちらの整理などを行う。

[浦幌町・持田]

- 小学校と高校の先生達の研修が増えてきており、現地で化石採集を行っている。

[八雲町・大谷]

- 7月に町内の子ども向けに発掘体験を行い、10月に八雲小学校の6年生全員に対して化石と地層の授業を行った。

[北海道博物館・園谷]

- 10月15日の化石の日にあわせてパラリテリジノサウルスのレプリカと当館の植物化石の専門家の成田が植物化石を出す形で展示会を行った。
- 化石関係・地学関係の講座を冬にかけていくつかやっていく予定。

4 その他

[北海道大学総合博物館・小林]

- 首都圏でのイベントの他に道内で道が主体となって低予算でイベントを行っても良いのかなと思う。11月3日にSTVでSDGsのイベントを行ったところ、北海道大学博物館にもかなりの人数が来ましたし、私の講演も定員300人程度のところに1500人くらいの申込みがあった。そのようなものを使って札幌だけではなくローカルなイベントを行っても良いと思う。
- 原画展に関しても話をまとめてからうまく利用すれば来年度、巡回展のような形で一つの事業にできるのではないかな。

5 閉会

[北海道・小林]

- 本日の議題は以上。様々なご意見をいただき感謝申し上げます。少ない予算で知恵と工夫でいろいろな事業を行いたいと思うので引き続きご協力をお願いします。
- これを以て本会議を終了させていただきます。

(敬称略)